

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成 26 年 4 月 10 日 (2014.4.10)

【公開番号】特開 2012-176839 (P2012-176839A)
 【公開日】平成 24 年 9 月 13 日 (2012.9.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-037
 【出願番号】特願 2011-41506 (P2011-41506)
 【国際特許分類】

B 6 5 H 1/02 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 1/02 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 26 年 2 月 24 日 (2014.2.24)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

筐体と、

回動軸を支点として回動することにより、記録媒体を給送ローラーに当接させるホッパーと、

前記ホッパーの上流側で、前記ホッパーと協働して前記記録媒体を傾斜して載置する記録媒体支持板と、

前記傾斜した前記記録媒体支持板を前記筐体に立設された状態で案内する案内溝と、を備え、

前記回動軸方向から見た前記ホッパーの外形と、前記回動軸方向から見た前記記録媒体支持板の移動領域と、が重なり、かつ、前記ホッパーの上流側の端部は、前記移動領域と重ならないことを特徴とする給送装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の給送装置であって、

前記記録媒体支持板には、前記記録媒体の載置面と直交する方向に突起し、前記記録媒体の幅方向を規制する幅方向規制部が備えられ、前記ホッパーの上流側には、前記幅方向における前記幅方向規制部の位置に切り欠き部が形成されていることを特徴とする給送装置。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の給送装置と、

前記記録媒体に文字や画像を記録する記録部と、を備えた記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

[適用例 1] 筐体と、回動軸を支点として回動することにより、記録媒体を給送ローラーに当接させるホッパーと、前記ホッパーの上流側で、前記ホッパーと協働して前記記録媒体を傾斜して載置する記録媒体支持板と、前記傾斜した前記記録媒体支持板を、前記筐体に立設された状態で案内する案内溝と、を備え、回動軸方向から見た前記ホッパーの外形と、前記回動軸方向から見た前記記録媒体支持板の移動領域とが重なり、かつ、前記ホッパーの上流側の端部は、前記移動領域と重ならないことを特徴とする給送装置。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本適用例によれば、回動軸方向から見たホッパーの外形と、回動軸方向から見た記録媒体支持板の移動領域とが重なり、かつ、ホッパーの上流側の端部は、移動領域と重ならない。これにより、記録媒体支持板を立設させた状態で支持する案内溝の位置をより給送ローラー側に設定できる。そのため、給送装置が大型化することを抑制できる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

[適用例 2] 前記記録媒体支持板には、前記記録媒体の載置面と直交する方向に突起し、複数の前記記録媒体の幅方向を規制する幅方向規制部が備えられ、前記ホッパーの上流側には、前記幅方向における前記幅方向規制部の位置に切り欠き部が形成されていることを特徴とする上記給送装置。